

第10回「日本語大賞」

テーマ「忘れられない言葉」

小学生の部 優秀賞 受賞作品

「みんなとちがってもいい」

神奈川県

湘南ゼミナール 浦賀教室

小学6年 バンダリ 亜加里

特定非営利活動法人 日本語検定委員会

みんなとちがってもいい

湘南ゼミナール 浦賀教室 小学六年
バンダリ 亜加里 (ぼんだり・あかり)

私の忘れられない言葉は、It's Okay To Be Differentです。これはアメリカに住んでいたころ、幼稚園に行っていた兄が読んでいた絵本のタイトルです。そのころ私は、三才でしたが、カラフルな絵本の絵を覚えていました。It's okay to be different.とは「ちがってもいいよ。」という意味です。

アメリカの生活はぼんやりとしていますが、写真を見ると少し思い出します。色々な肌の色の友達や色々な言葉話す友達がいました。私の父はインド人で母は日本人ですが、アメリカではめずらしくありませんでした。人とは違うことはふつうのことだったのです。

私はアメリカから広島に引っ越して五年間住みました。そして、広島から横須賀に引っ越しました。新しい学校に行ったとき、悲しいことがありました。

私が話すと友達が笑うのです。広島という言葉と横須賀の言葉はちがうのです。

「はやくきんさい (早くきなさい)」

「なにしよるん (なにしてるの)」

「じゃけ (くだから)」

「よして (仲間に入れて)」

などです。友達は、「なにそれ。なにじゃかって。変な言葉。」と言って笑いました。しばらく笑われる日が続きました。広島の友達を思い出して悲しくなりました。「もう学校に行きたくない。」と思ったとき、あの絵本を読みました。いろいろな子供がでてきます。

「助けてもらってもいい。」「色がちがってもいい。」「めがねをかけていてもいい。」「悪いことにいけないと言ってもいい。」など。

そして最後に、

「ちがっていい。君は君であることが特別で重要なことだ。」

という言葉がありました。私は心が少しかろくなりました。

私は今、仲のよい友達がいます。みんな、それぞれちがって楽しいです。

自分がほかの人とちがうことにはずかしいと思わないで、これからもいろいろな人と出会っていききたいです。